

→ 戦国時代の小さな人形

博多区 博多遺跡群

今年、「中世の貿易都市」の姿を伝えるものとして、多くの出土品が国の重要文化財に指定された博多遺跡群。その発掘調査は、昭和52年の市営地下鉄空港線の建設工事をきっかけにスタートし、現在までに200か所以上で実施されてきました。

そのような博多遺跡群の調査が開始されてから間もない昭和55年、冷泉町の大博通り沿いの発掘現場から、1体の人形が出土しました。

人形の大きさは、5.6cm。^{かつせき}滑石という比較的やわらかく加工しやすい石でできています。大きな頭とユーモラスな表情は、現在の“ゆるキャラ”にも通じる姿です。頭に載せているのは烏帽子^{えぼし}で、当時の男性の装いが人形の姿に反映されています。

一緒に出土した土器の年代から、16世紀末頃までに作られた人形と考えられます。どのような人が誰のために作ったのか、当時の人々の生活に思いをめぐらすことのできる文化財の1つです。



【国指定重要文化財】
目や鼻は線で描かれています。
実在のモデルがいるのかも。

→ 10・11月のイベント情報

10月

9/30・10/4・8・9日

市指定無形文化財 ^{のこのしましらひげ}能古島白鬚神社おくんち行事

場所：白髭神社（西区能古719）

9日 市指定無形民俗文化財 ^{やぶさめ}飯盛神社流鏝馬行事

場所：飯盛神社（西区大字飯盛609）

17日 県指定無形民俗文化財 ^{かしいぐう ほうのうしし かく}香椎宮奉納獅子楽

場所：香椎宮（東区香椎4-5-21）

21日 埋蔵文化財センター考古学講座 第4回

「チャイナタウンのガラス」講師：井上 暁子氏

22日 県指定無形民俗文化財 ^{いっちょけん だん ぼつちく}一朝軒伝法竹

場所：西光寺（博多区御供所町6-16）

28日 板付弥生のムラ「秋祭り」

場所：板付遺跡（博多区板付3-21-1）

11月

18日 埋蔵文化財センター考古学講座 第5回

「大航海時代の博多で行き交う金銀」

講師：^{くつな たかひこ}沓名 貴彦氏

19日 県指定無形民俗文化財 はやま行事

場所：奈多公民館（東区奈多2-13-2）

26日 県指定無形民俗文化財 今津人形芝居

場所：野の花富楽和^{ふらわー}（西区今津5324-5）

福岡市経済観光文化局文化財部

住所：福岡市中央区天神1-8-1

TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理に関すること

文化財保護課 TEL:092-711-4666

史跡の整備に関すること

史跡整備活用課 TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL:092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること

埋蔵文化財センター TEL:092-571-2921

ホームページ「福岡市の文化財」

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも

情報発信中！



歴史
の風

ふくおか
文化財だより

Vol.11 2017年10月号

いたづけ 板付弥生のムラ「秋祭り」を 開催します！

国史跡板付遺跡（博多区板付3丁目）では、10月28日（土）に、板付弥生のムラ「秋祭り」を開催します。



昨年の稲刈りの様子

秋祭りは、6月24日に開催した「田植え祭り」で市民の皆さんが復元水田に植えた稲を楽しみながら収穫し、今年の豊作に感謝するイベントです。稲刈りだけでなく、脱穀などの農作業や^{まがたま}勾玉づくり、火起こしなど、弥生時代のくらしを実際に体験することもできます。そのほか、輪投げなどのイベントコーナーや地域の方々による飲食・物販ブースも出店予定です。ぜひ皆さんも弥生のムラの「ムラ人^{むらひと}」となって、秋祭りに参加してみませんか。



脱穀体験 上手に白米にできるかな？

秋祭りの開催時間は午前10時30分から13時まで。事前のお申し込みは不要で、どなたでもご参加いただけます。多数の方のお越しをお待ちしております。

→ 市内盆踊り調査報告

～市内のかくれた文化財を調査しています～

盆踊りといえば、最近では夏祭りや運動会などで、「炭坑節」や「ふるさと音頭」などが踊られることが多いようですが、本来はお盆の時期に、先祖の歓待と見送りのために踊られるものでした。かつては市内のあちこちで、初盆のお宅の庭に青年団が訪れて盆踊りを踊り、その後、盆綱引きや相撲大会などの盆行事が行われていました。

現在、城の原と志賀島の盆踊りが市の無形民俗文化財に指定されていますが、この他にも市内には古くから伝わる盆踊りがあります。今年はそのうちの今津、女原、北原、今宿、戸切の盆踊りについて調査を行いました。その結果、各地に共通する歌や踊りが残されていることがわかりました。

お盆に帰省した参加者が、地元の方との近況報告に花を咲かせているような場面も多く見られました。先祖が見守る中で、町内の人びとが一同に会し、同じ踊りを輪になり踊る。盆踊りは地域のつながりを再認識するきっかけにもなっているようです。



歌・笛・太鼓は地域の方による生演奏！
(戸切町内)

→ 収蔵庫暗闇ツアー IN 埋文センター

～真つ暗闇の中、提灯片手に歴史を体感～

埋蔵文化財センターでは、夏休み企画として、「収蔵庫暗闇ツアー」を開催しました。

埋蔵文化財センターの収蔵庫には、現在コンテナ約16万箱、約120万点もの遺物（発掘調査で発見された出土品）が眠っています。今回の暗闇ツアーは、福岡市の歴史をテーマにしたクイズを解きながら、ほの暗い収蔵庫の中を、楽しく探検していただくイベントです。収蔵されている大量の文化財を実際に見て、触れて、福岡市の歴史の厚みを体感していただくことを目的として企画しました。

ツアー最大の見どころは、提灯のほのかな灯りに照らされ、無数の甕棺（弥生時代の人々が埋葬された土製の棺）が浮かびあがる、通称「甕棺ロード」です。参加者の方々からは、「甕棺がこわかった…」「こんなにすごい量が保管されているとは思わなかった」等の声をいただきました。

収蔵庫は通常は開放しておりませんが、バックヤードツアーをご予約いただきますと、収蔵庫の中を見学することができます。みなさまのお越しをお待ちしています。



暗闇ツアーの様子

福岡市埋蔵文化財センターの情報はこちらのHPをご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>

→ 夏休みに特別な体験

「福岡城修復！」

～福岡城南丸多聞櫓夏休み修理体験ツアー
実施しました～

去る8月20日、福岡城南丸多聞櫓にて「夏休み修理体験ツアー」を行いました。多聞櫓は福岡城内唯一の国指定重要文化財で、来年3月までの予定で保存修復工事を行っています。今回のツアーは福岡城について知ってもらうとともに、文化財修復を支える伝統技術を体験することで文化財への理解と親しみを持っていただくことが目的でした。



伝統技法による土壁ぬり体験

参加した小学生と保護者の方約40人は、工事中の平櫓と修復の終わった隅櫓を見学した後に、職人さんからの手ほどきを受け、木材のカンナ掛けや土壁ぬりなどを体験しました。職人さんは軽々と作業をこなしますが、カンナやコテを実際に手にしてみるといかに難しいかがよくわかります。土をうまく塗れたり、カンナくずが長くとれると、子どもたちの歓声が上がっていました。

修理体験ツアーは今回限りの企画ですが、多聞櫓保存修理工事の見学会を、今年の11月頃に実施する予定です。日時や申込み方法等の詳細は福岡市の文化財HPおよびFacebook等でお知らせしますのでご確認ください。